



↑活力ある町づくりのために「くにみ浪漫 大地の恵み館」を立ち上げ、手作りで運営するスタッフの皆さん。

→会員が作った作品が、ところ狭しと並んでいます。



↑開館を祝いテープカット、左から亀岡義尚県議、佐藤忠美町議会議長、渋谷次子会長、佐藤力町長。

カメラレポート

↑9月7日のオープンには町内外から約100名が来館し、陶芸品やミニチュア古民家、わら細工など会員の作品を手に取りするなどして興味を寄せていました。また、森山の上野山で採れた土で造った「くにみ焼」の湯呑茶碗も展示されました。

→県道沿いに建てられた大きく立派な看板が目印。



←地元農家の方の新鮮な野菜などの販売も行っています。



町の特産と伝統の技を伝える交流の場

町の新しい情報発信拠点 「くにみ浪漫 大地の恵み館」 オープン



←昔ながらの格子戸が、懐かしさと居心地の良さを感じさせる休憩スペース。

【活動内容】
 ☆会員の作品（工芸品・農産物等）の展示・販売
 ☆陶芸・木工・つる細工等の講座の開催（有料）
 ☆昔ながらの伝統工芸や国見の文化の伝承
 ☆国見町の良さを町内外にPR
 ☆各種団体や各地域との交流活動
 ☆会員相互の親睦

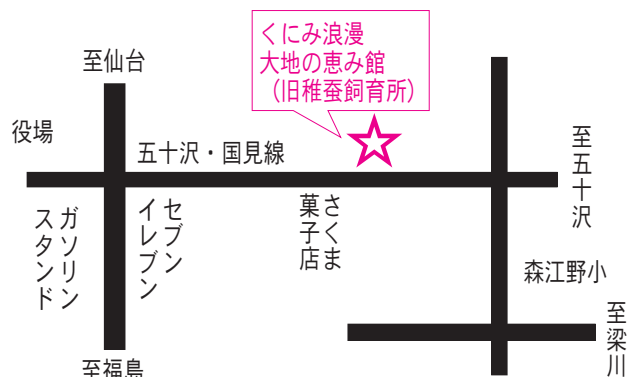
【活動時間】
 午前9時30分～午後5時（冬期間は午後4時まで）

【問い合わせ】
 渋谷次子さん方 585-3841
 氏家博昭さん方 585-1112

入館無料



←9月14日、2階の講座室において陶芸教室が行われ、小鉢や器作りに取り組んでいました。



国見町の工芸品や農産物、伝統の技などを伝える「くにみ浪漫 大地の恵み館」が9月7日、森山地区にある旧稚蚕飼育所にオープンしました。同館は、町内の伝統工芸にかかわる発起人5人が、町から旧稚蚕飼育所を借り受け、主に2階部分を使用し、町の補助や地元協力を得ながら床や看板などを自分たちで改装、伝統工芸の伝承の場と町内外の人が触れ合う場をつくり、活力ある町づくりのために設置しました。陶芸教室やわら細工など会員の作品の展示・販売を行うほか伝統工芸教室も実施しています。

町の新しい情報発信拠点「くにみ浪漫 大地の恵み館」をカメラレポートしました。

→式典後、ハウンドドック初代ベーンストの海藤節生さん（宮城県七ヶ宿町）のミニコンサートが行われ、多くの人が訪れオープンを楽しみました。



→旧稚蚕飼育所を再利用し、町の情報発信の拠点として生まれ変わりました。

